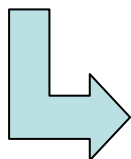


メリット	デメリット
<ol style="list-style-type: none"> 1. 慣れれば速い (カルテや写真を探す時間がない) 2. 検査結果の参照が迅速 3. 判読しやすい 4. 誤薬, 過量投与などのチェックが可能 5. 運搬不要(端末があればどこでも) 6. 情報を共有化(いつでも, だれでも) 7. 患者にも情報を開示 8. 正確で, 改ざんが不可能 9. リスク管理に威力を発揮する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慣れるまでに時間が必要 2. イラスト, 図が書きにくい →医師ごとに操作を選べるシステムを選定する 3. 訂正しにくい 4. 医師に役割が集中 →診療クラークを育て、医師の負担を軽減させる 5. データ量の多いカルテは開くのに時間がかかる →レスポンスの良いシステムを選定する 6. 患者にかくせない 7. 投資対効果が明らかでない 8. メンテナンスに費用がかかる

良いシステムとは



- ◆ 病院様の業務改革の要件に合致している事。
- ◆ 統一された優良な操作性を提供できる事。
- ◆ 性能(レスポンス)が変動しない事。
- ◆ 無停止運用が実現出来る事。
- ◆ 出来るだけ安価である事。
- ◆ 良質なシステムサポートが受けられる事。
- ◆ 病院様と共に進化できる事。